

みずほCustomer Desk Report 2017/09/21 号(As of 2017/09/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.63 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.60	1.1992	133.83	0.9628	1.3515	0.8005
SYD-NY High	112.53	1.2035	134.10	0.9718	1.3659	0.8105
SYD-NY Low	111.11	1.1861	133.27	0.9589	1.3452	0.7986
NY 5:00 PM	112.20	1.1896	133.45	0.9700	1.3496	0.8032
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.085/9.445	△25RR	0.645	Yen Call Over		
NY DOW	22,412.59	41.79	債券市場	日本2年債	-0.1200	0.9bp
NASDAQ	6,456.04	▲5.28		日本10年債	0.0290	▲1.0bp
S&P	2,508.24	1.59		米国2年債	1.4382	3.7bp
日経平均	20,310.46	11.08		米国5年債	1.8743	4.0bp
TOPIX	1,667.92	0.04		米国10年債	2.2676	2.3bp
シカゴ日経先物	20,315.00	135.00	為替市況	独10年債	0.4430	▲0.9bp
ロンドンFT	7,271.95	▲3.30		英10年債	1.3420	1.3bp
DAX	12,569.17	7.38		豪10年債	2.8290	1.5bp
ハンセン指数	28,127.80	76.39		USD/CNH	6.5863	0.0024
上海総合	3,366.00	9.15		ドルインデックス	92.51	0.71
USDJPY 3M Vol	9.72	▲0.28%	商品市況	CRB指数	184.634	2.06
USDJPY 6M Vol	9.63	▲0.19%		NY金	1,316.40	5.80
EURJPY 3M Vol	9.67	▲0.22%		WTI	50.69	0.79
EURJPY 6M Vol	9.87	▲0.15%		Dubai Spot	54.17	▲0.04

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月20日	8:50	日 貿易収支	8月 ¥113.6B	¥104.4B
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	8月 1.0%/2.8%	0.1%/1.4%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-9.7%
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 5.35M	5.45M
9月21日	3:00	米 FOMC 政策金利	-	1.00%-1.25%
	3:30	米 イエレンFRB議長 記者会見	-	-

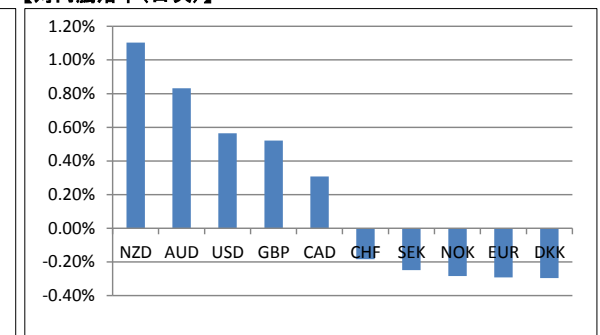
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月21日	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	14:10	豪 ロウRBA総裁 講演	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	302K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	9月 17.1	18.9
	22:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感	9月 -1.5	-1.5
9月22日	3:30	米 イエレンFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.80-112.80	1.1840-1.1940	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、米FOMC会合の結果を受けて大きく上昇。当局想定に依然として追いつきを見せていない米インフレ率やハリケーンによる被害を背景に当局のハト派化が警戒されていた状況であったが、会合では利上げペース並びにバランスシート縮小方針に変更はなされず、米金利上昇およびドル高が示現する結果となった。本日のドル円相場はレンジでの推移を予想する。昨日の市場動向を受け本邦株式市場は一旦の上昇を示しドル円相場にとってのサポート材料となる事が期待されるが、上昇した場面では相応の戻り売り圧力が働くことが予想される。本日予定される日銀金融政策の結果公表についても金融政策の現状維持が予想されており、失望との名目で戻り売りの切っ掛けになる可能性が相対的に高いと考える。

東京	朝方に本邦8月貿易収支が発表され予想比黒字額が拡大し1136億円の黒字となるも、市場の反応は限定的。東京時間のドル円は111.60レベルでオープン。ゴトー目にあたるこの日、本邦勢による実需フローが散見される中、ドル円は111円台半ばで揉み合う展開。午後に入り実需フローが一巡すると、米国時間に控えるFOMCを前に様子見ムードが支配的となり、ドル円はじり安の展開。日経平均は前日高値を更新するなど引き続きの堅調推移を見せるも、ドル円は上値の重い相場展開から一時111.34まで軟化。結局111.40レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.40レベルでオープン。米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策決定を控え様子見ムードが広がる中、市場ではドットチャート(FOMCメンバーによる金利見通し)で、ハリケーンの影響などを背景に金利見通しが引き下げられるとの見方もあることから、ドル円は111.24まで小幅に売られ、111.30レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3522レベルでオープン。8月の小売売上高指数が前月比1.0%の上昇を示し予想(0.2%)を上回った他、4ヶ月ぶりの高い伸びを記録したことで英中銀の利上げ観測が強まり1.3606レベルまで上昇。しかし、同時に発表された英中銀の四半期企業調査にて賃金の伸びが依然として鈍く、サービス業では投資意欲が一段と減退したことが示されたことから直ぐに反落し、結局1.3536レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 山本)
ニューヨーク	海外市場は、FOMC会合を控え111円台半ばで方向感に欠く推移が続く。111.30レベルでNYオープン。朝方発表された米8月中古住宅販売件数は予想を下回り、3ヶ月連続で減少する内容となったものの市場の反応は限定的。その後はイベント待ちの展開となり111.30から111.50付近の狭いレンジでの推移が続いた。FOMC会合結果発表直後にこの日の安値となる111.11まで急落する場面もあったが、ドットチャートで年内追加利上げ1回、2018年も3回と前回通りの内容が踏襲され概ね据え置きとなったことが効派と捉えられ、年内追加利上げ観測が強まる展開に米金利の上昇と共にドル円は112.17まで上昇。その後行われたイエレン氏記者会見でも特段ハト派な発言も見られなかったことからドル円は一段と上昇しこの日の高値となる112.53まで上昇。7月18日以来2ヶ月ぶりとなる水準ではドル売り意欲も強く112.11まで反落したが、その後も112円台前半まで底堅く推移し、結局112.20レベルでクロスした。FOMCでは予想通り政策金利は据え置き、バランスシート縮小の10月開始が公表された。短期のインフレ見通しやドットチャートの2019年やLonger Runの値は前回から下方修正された。なお、ダウ工業株、S&P500種は続伸し、終値ベースで過去最高値を更新した。一方ユーロドルは1.2005レベルでNYオープン。FOMC会合を受けて米金利上昇と共にドル買いが強まり、安値1.1861まで下落。その後も上値の重い展開が続く。1.1896レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・橋